

高速道路、高層ビル、といった巨大建築物から
夢のマイホームづくりのお手伝いまで。
時には環境にやさしい風力発電のプロペラを。
また作業環境の厳しい地でも、お客様の信頼に応え、
私たちの技術・製品が、たくさんのおものを吊り上げてきました。

Lifting your dreams

私たちは「創造・奉仕・協力」の経営理念のもと、
これからも、皆様のさまざまな「夢」の実現をお手伝いします。



今日も世界各地の現場で活躍する
タダノの製品。次ページではその
DNAである「創造・奉仕・協力」を
ご紹介します。

Contents

- 1-4 Introduction
目次 / 経営理念(事業目的)
- 5-6 Value Chain
創る・造る・届ける・サービスする
- 7-11 Top Message
- 12-14 LEとは / 価値創造プロセス
- 15-22 事業紹介
建設用クレーン
車両搭載型クレーン
高所作業車
その他
- 23-28 ステークホルダー
エンゲージメント
お客様への約束
社員との約束
取引先との約束
株主・投資家への約束
社会への約束
- 29-30 コーポレート・ガバナンス&
コンプライアンス
- 31-32 業績・財務ハイライト
(連結ベース)
- 33-34 連結財務諸表
- 35 トピックス
- 36 会社概要・株式の状況
- 37 役員紹介
- 38 沿革
- 39-42 事業所・グループ会社・
海外代理店一覧

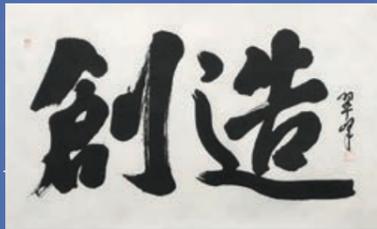


当社ウェブサイト(日・英)でも決算やESGに関する情報を
開示しています。ぜひご覧ください。

[日] <http://www.tadano.co.jp/>
[英] <http://www.tadano.com/>

※本報告書における掲載データについて
決算情報・株主情報については2017年度決算報告(2018年3月末
時点)のデータを、また海外のグループ会社・代理店一覧については
2018年7月末時点のデータをそれぞれ掲載しています。

世の中のお役に立つ製品を — 経営理念「創造・奉仕・協力」の実現こそが タダノの事業目的です。

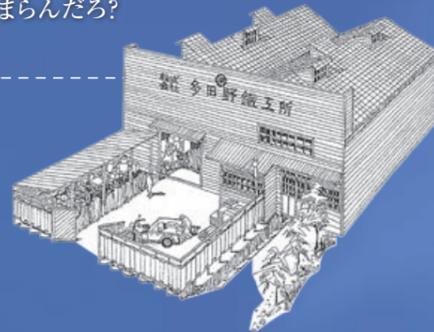


鉄工所をやろう！我々の技術を活かした鉄工所を。

人様の役に立つ仕事をしていれば必ず成功する。いいか、まず力を合わせて仲良くやるのが基本だ。

それが次に繋がる。それとあんまり人がやっていないような新しい仕事を選ぼうな。

みんながやっとなるようなことの後追いをしてもつまらんだろ？



創業者・多田野益雄の言葉です。

この言葉の根底にあったのは「企業は社会や人との調和の中で生かされている存在」という考え方です。

私たちは調和の中で生かされているからこそ、人のお役に立ち(奉仕)、皆で力を合わせ(協力)、

世の中に新しい価値を提供すること(創造)を目指そう、と考えてきました。

経営理念「創造・奉仕・協力」はここから生まれました。

「創造・奉仕・協力」は経営理念であると同時に、私たちが事業をする目的そのものでもあります。

たった4人と23坪の小さな工場から始まった鉄工所が、日本で初めての油圧式トラッククレーン「OC-2」を開発。

その後も大胆な挑戦と全社の一致団結で、さまざまな製品を送り出しました。

今日も世界のどこかで私たちの製品が、誰かのお役に立っています。

「世の中のお役に立つものを創りたい」「社会の発展に貢献できる企業になりたい」

この思いがタダノの歴史を作ってきました。「創造・奉仕・協力」は私たちのDNAです。

LE世界No.1 への挑戦

LEとはLifting Equipment、日本語では(移動機能付)抗重力・空間作業機械のことです。都市開発や資源・エネルギー開発など社会の発展にLEは欠かせません。LEにしかできない仕事があり、社会貢献があります。私たちはLEという事業領域で、世界中のお客様から「かけがえのない存在」と言ってもらえる、世界No.1の企業を目指しています。

コアバリュー (安全・品質・効率) の追求

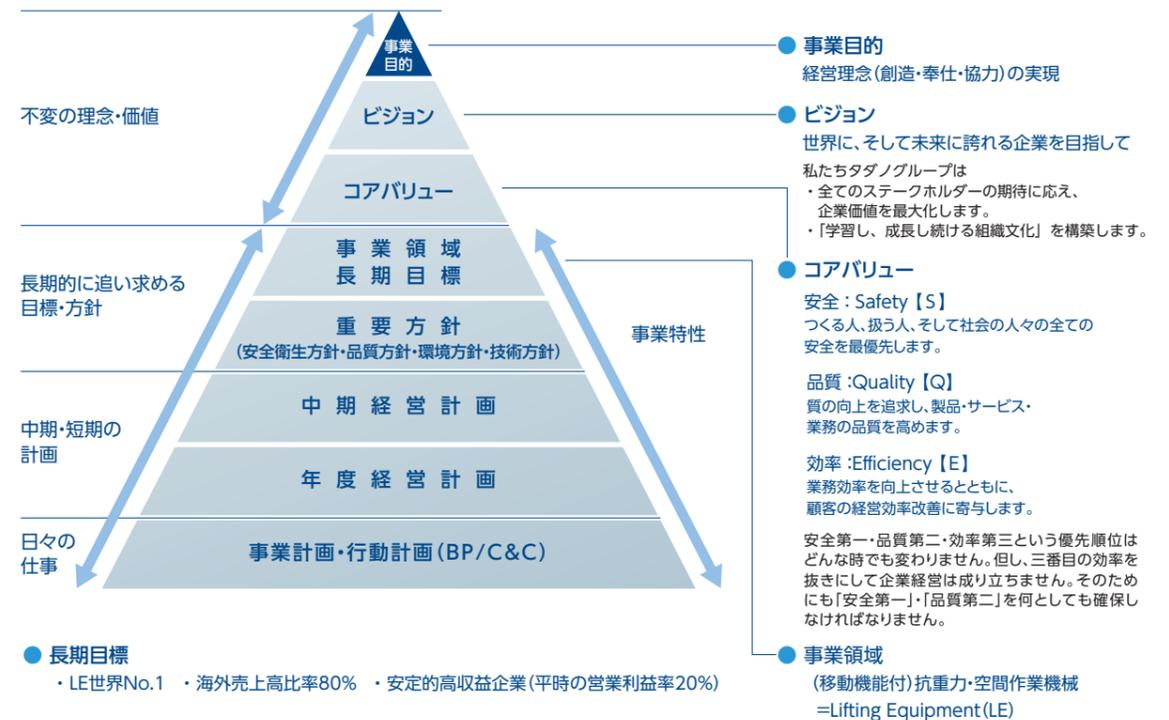
私たちにとって絶対譲れない価値観、それは「安全・品質・効率」のコアバリューです。お客様と社会の安全が最優先です。その上で製品・サービス・業務の品質を高める。業務効率を高め、お客様の経営効率改善に寄与する。コアバリューは価値観であるとともに、お客様に提供したいと考えているものでもあります。

世界に、そして未来に誇れる企業を目指して

「Lifting your dreams」というブランドメッセージに込められたdreamslは、人や社会、私たち自身の夢であるとともに、夢に向かう「志」でもあります。当社は、「LEを通してよりよい社会をつくる。お客様のビジネスに貢献する」という志を胸に「世界に、そして未来に誇れる企業」を目指し、すべてのステークホルダーの期待に応え、「企業価値を最大化する」取り組みを進めています。



事業の全体像(事業ピラミッド)



Value Chain

バリューチェーン

当社ではバリューチェーンを「創る・造る・届ける・サービスする」という言葉で表現し、総合的品质経営(TQM)に取り組んでいます。タダノの製品が今後もお客様に選ばれ続けるよう、従来からの強みである品質・(部品を含めた)サービス力に磨きをかけ、商品力と中古車価値をさらに高めることで「四拍子そろったメーカー」を目指しています。



造る

(生産・購買・品質安全)

溶接業からスタートしたタダノには、長年受け継がれ、磨きをかけてきた「技術」があります。その技術を伝え、育てていくのは「人財」です。特に複雑で繊細な機械のクレーンは、部品と部品のすり合わせなど経験工学的な要素が多く、「人の技術や技能の向上」が品質の大きな鍵になります。当社では「専門技能の習得」と「多能工化」という二つの側面から人財育成を推進。専門技能の習得による品質向上と、多能工化による効率的な生産を実現しています。一方で、さらなる生産性を求め、新しい設備や生産技術の開発にも力を入れています。

また、日本をマザー工場に位置づけながら、ドイツ、アメリカ、タイとそれぞれの市場に近いところで、それぞれのニーズにあった製品を生産し、生産効率とコスト競争力に優れたグローバル生産体制を構築しつつあります。「安全・品質・効率」を追求するコアバリュー活動を各社に展開するなど「世界統一品質」を目指すための取り組みも強化しています。これらの取り組みがタダノグループの品質を支えています。



創る (設計・開発)

タダノの設計の根底にあるのは、徹底したお客様目線です。現場ではどのように製品が使われているのか? という機能がお客様に喜んでいただけるのか? タダノの開発者は現場に足を運び、自分の目と耳で作業現場を見て、お客様の生の声を聞いて考えます。

過酷な作業現場でも壊れにくい、閑静な住宅街でも静かに作業できる。本当の意味でお役に立つ製品を作り

たい。高品質で高性能な製品作りへの強いこだわりを支えるのが、開発に直結した生産現場との抜群の連携です。

またドイツ・アメリカ・タイのそれぞれ海外グループ会社とのものづくり協働から生まれるグローバルな開発体制は、今後も進化を続けます。お客様の期待を超える製品を作りたい。タダノの挑戦に終わりはありません。



サービスする

CS(カスタマー・サポート)

タダノのサービスは、私たちが提供した製品の修理などを行うアフターサービスと、安心して使うために点検・整備などを行うビフォーサービスに分かれます。製品が故障する時間=ダウンタイムはお客様のビジネスの損失に直結します。当社では「ここまでしてくれるのか!」とお客様に言っていただけのような「感動サービス」の提供に取り組んでいます。

日本国内では10支店と23営業所に加え、全国352か所の認定サービス工場と939名の認定サービス員によるサービス体制を構築。また神戸市のグローバルパーツセンターをはじめ、7か所に部品センターを設置し、部品デリバリータイムの大幅な短縮を目指しています。

海外では直接サービスに加え、代理店が世界をカバー。体制を整えるとともに、サービスの質を高めるための取り組みも充実。現地で技術講習会を開いているほか、日本での専門教育も実施。最新のトレーニングセンターでの体系的な教育で、人財育成を進めています。

届ける (営業)

日本市場は、お客様の厳しい声がタダノの製品・品質を育ててくださった、いわば「マザーマーケット」です。全ての製品カテゴリにおいて厳しい競争を勝ち抜き、揺るぎない地位を築く取り組みを進めています。お客様の真の声に耳を傾けてつかんだご要望は、よりよい製品、よりよいサービスの創出のために、開発やサービスへフィードバックしています。

海外市場は、グループ会社による直接販売の他、商習慣や法制度など地域の実情を熟知した代理店を設定し、世界のクレーン需要をカバーするためのネットワークを構築しています。直販、代理店の双方でお客様とのコンタクトを密接にしてお客様の真のニーズをつかみ、満足をお届けできるよう努めています。

